



まち・川・緑とともに
大和川線

大和川線の構造

臨海部と内陸部を結ぶ東西のトンネル

4号湾岸線・14号松原線間 を結ぶトンネル

大和川線は、阪神高速4号湾岸線と14号松原線を結ぶ、全長約9.7kmの道路です。大和川線の整備により、一般道の交通が転換され、渋滞緩和が期待されています。

沿道環境の保全、沿道の土地利用との整合等を勘案し、そのほとんどがトンネル構造となっています。トンネルは主に、地上部から掘削し箱形のトンネル構造物を築造する「開削トンネル」と、円形のシールドマシンによって掘り進める「シールドトンネル」で形成されています。

大和川線 平面図



大和川線の構造

開削トンネル



シールドトンネル

